

# ブラスサウンドクリエイション

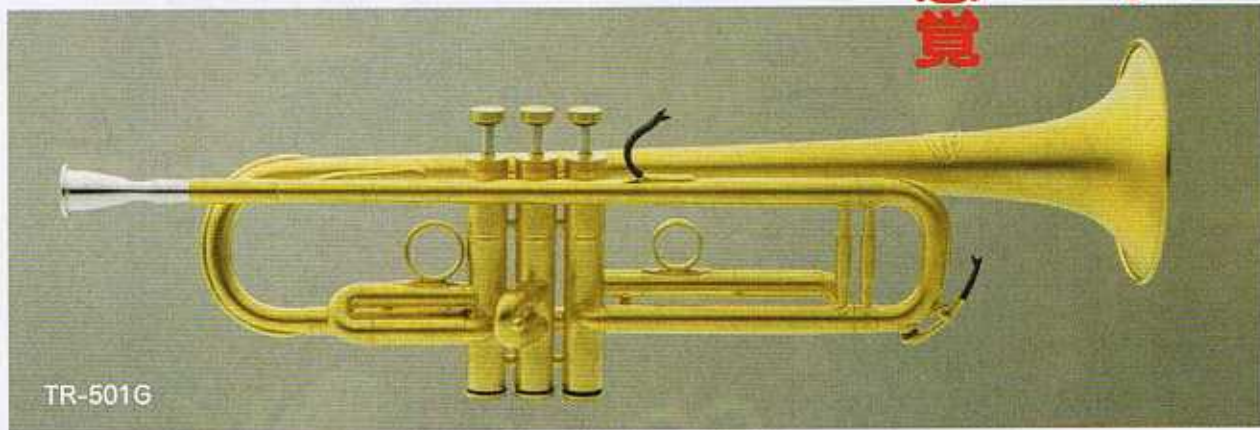
トランペット

TR-501G

TR-303S “シンフォニー”

TR-105S “ミレニアム”

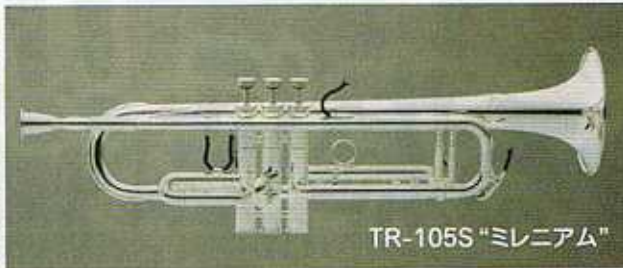
音域・音量に関わらず、  
どこまでも伸びていく  
一筋の道を安心して  
歩いていけるような感覚



TR-501G



TR-303S “シンフォニー”



TR-105S “ミレニアム”

◎富山 渡 (トランペット奏者)



W杯で盛り上がっていたドイツから、ユニークで画期的なトランペットが届いた。今回、2種類のモデルを、最近メインの現場としている、舞浜にある某テーマ・パークで試してみた。

最初はユニークなデザインに目が行くが、これはすべて、音色を追求した上でのアイデア。ピストン押ボタンの中が空洞だったり、ベルが特殊2枚取りだったりするのは、音色に、より幅広さを持たせるための新しいアイデアということだ。

“ミレニアム”は明るく輝かしい音色で、抵抗が少なくコントロールしやすい。特に高音域での息の通りがよく、長時間演奏しても疲れがない。無理やり大きな音を出そうとしなくてもクリアに響いていくのでトランペットを吹くのが楽しくなる楽器だ。

“シンフォニー”は、ほど良い抵抗感があり、より密度が高く温かい音が特徴的だ。ワイドな音色で、しかも音が散ることなく芯があり重厚に響いていく。息がすべて音になってくれるので、安心してピアノからフォルテまでコントロールできる。

そしてどの楽器にも共通なのが、大きな音量の中でも自分の音が確実にモニターでき、音程が安定していて、音域・音量に関わらず、どこまでも伸びていく一筋の道を安心して歩いていけるような感覚を覚えることだ。

BSC(ブラスサウンドクリエイション)は、ヨーロッパではすでに広く浸透していて、ラインホルト・フリードリヒ(ソリスト、カールスルーエ音楽大学教授)やフローリアン・クリングラー(ミュンヘン・フィル首席奏者)も使用している。また、多くの女性プロ奏者にも支持されているのもコントロールのしやすさの表れだろう。

ベル材質:イエロー・ブラス特殊2枚取り加工、ベル直径:4.803”(122mm)、ボアサイズ:0.460”(11.70mm) / TR-501G…シルク24K金メッキ仕上げ / TR-303S “シンフォニー”…銀メッキ仕上げ / TR-105S “ミレニアム”…銀メッキ仕上げ  
※いずれもケース付き

問い合わせ:有限会社セレクト インターナショナル  
〒272-0836 市川市北国分1-8-2

☎ 047-374-0792 ホームページ <http://www.select-inter.com>